

はくび通信

奇跡の鐘 旧首里城正殿鐘





豊かな鐘世界の空間演出

開館10年目の常設展示リニューアル



鐘の内側をのぞける鏡を設置



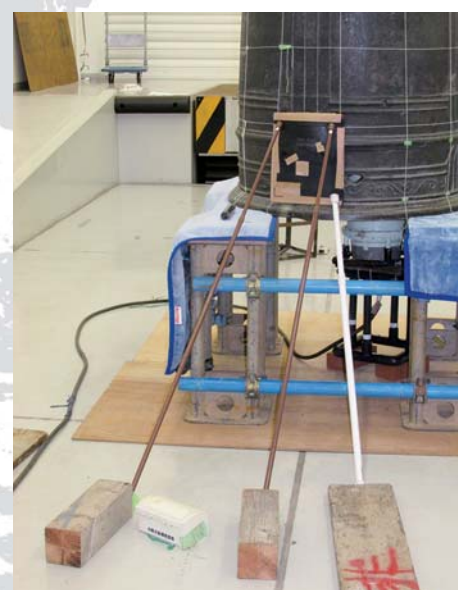
鐘の表面には戦争の傷痕が残る



館外にある「梵鐘（旧大聖禅寺鐘）」
現存する鐘では沖縄最古のものとなる



撞き音の収録風景（2016年11月）



撞座にX線を投影し損傷、劣化の確認を実施
（2014年9月）



旧首里城正殿鐘のX線写真（2014年9月）

【常設展にて新たに展示した鐘】

国指定有形文化財 梵鐘（旧円覚寺殿中鐘）、県指定有形文化財 梵鐘（旧普門禅寺鐘）
県指定有形文化財 銅鐘（旧天尊殿鐘）、県指定有形文化財 梵鐘（旧霊応寺鐘）
県指定有形文化財 梵鐘（旧永福寺鐘）、梵鐘（通称 ふれあい之鐘）

【屋外鐘楼に展示した鐘】梵鐘（旧大聖禅寺鐘）

今ここにある奇跡 ——

博物館の常設展示のテーマは「海と島に生きる一豊かさ、美しさ、平和を求めて」。琉球王国時代、国王は寺院をつくり、鐘を造ることを命じ、首里・那覇の寺には鐘が吊られました。沖縄は沖縄戦で多くの文化遺産を失いましたが、幸いにも戦時下の金属供出を免れ、さらには「鉄の暴風」をくぐって奇跡的に私たちの目の前にいくつも鐘が存在します。開館10年の節目にあたり常設展示室（総合展示）のうち古琉球の展示リニューアルを行い、博物館常設展示の魅力アップをはかりました。

展示リニューアル4つのみどころ

一つ目は、沖縄の鐘のうちでもっとも知名度が高い国指定重要文化財 銅鐘「旧首里城正殿鐘（万国津梁の鐘）」を単独で展示し、360度の角度で鑑賞することができるように際立たせたことです。二つ目に、有名な銘文を多言語（日本語、英語、中国語（繁・簡）、韓国語、スペイン語）で訳して意味が理解できるようにしました。三つ目に、鐘本来の機能である撞いた音が聞けることです。開館時間の9時から18時（金、土曜日は20時）まで30分ごとに、鐘の撞き音が流れるしかけをつくりました。四つ目には、屋外鐘楼に吊った旧大聖禅寺鐘をふくめ、新たに7口の梵鐘を展示したことです。

初めての「旧首里城正殿鐘」健康診断

旧首里城正殿鐘は沖縄戦で戦火にあったため、黒焦げになったり弾痕らしい穴が開いたりしています。果たして撞くことが可能かどうか、十分検討を重ねました。特に、撞くことでヒビ割れがあったりすると、損傷や劣化を促しかねない要因になります。そのため、ヒビ割れの有無を確認するために、いわゆる健康診断（X線撮影）を行いました。また、蛍光X線装置による成分分析も行いました。この分析結果、銅8割、錫1割、鉛1割の成分で構成されていることがわかりました。柔らかい鉛の成分が含まれていたことが弾痕の傷がヒビ割れとして広がらなかった一因と考えられます。これらの検査を経

て、旧首里城正殿鐘は鐘本来の機能を十分に備えていることが確認されたので、3回だけ撞いた音を収録し来館者にお届けすることができました。

ホンモノの鐘の音を感じながら…

今から500年以上前の鐘の音に耳をすませながら、重量感のある梵鐘の空間を是非鑑賞ください。王国時代、「万国の架け橋」を試み、平和な世界を創造しようとした先人たちの声が聞こえてくるかのようです。博物館常設展示の新たな見どころとパワースポットとして位置づけてほしいものです。
（博物館班長 園原 謙）

博物館 企画展

GOOD!
「新収蔵品展」
「博物館70年のあゆみ」
のチケットで博物館
常設展も観覧
できる！

人間国宝 金城次郎の作品も展示！

新収蔵品展 ― 平成28年度収蔵資料 ―

会期：平成29年5月23日（火）～6月25日（日）

毎年恒例の新収蔵品展。人間国宝・金城次郎による魚文壺、仁王の赤絵花瓶、メジロ籠の名工・友寄英春の渾身作、希少な沖縄産アンモナイトを含む化石類、多数の陶磁器など、昨年も多数の貴重な資料をご寄贈いただきました。他にも、数々の新収蔵資料から選りすぐりの逸品たちを、会場にてお披露目いたします。お楽しみに！（学芸員 藤田 祐樹）

会場：博物館 企画展示室



仁王《赤絵花瓶》



金城次郎《魚文壺》



友寄英春《メジロ籠》

一般 600(480)円
高大生 400(320)円
小中生 300(240)円

「新収蔵品展」
「博物館70年の歩み」の
セット券となっております。

未来へ沖縄を伝え遺す

博物館70年の歩み

会期：平成29年5月23日（火）～6月25日（日）

沖縄戦直後の1946年4月に沖縄民政府立東恩納博物館が、戦後の教育文化の発祥地、石川東恩納に誕生しました。館発展の70年間の各時期にそくして自然、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗、教育普及の各分野を代表する資料を通して、戦後とともに歩んできた博物館の70年間の歴史をふりかえります。

（博物館班長 園原 謙）

会場：博物館 特別展示室1、2



旧沖縄県立博物館



東恩納博物館



旧首里城正殿鐘と着物の女性

美術館 コレクション 展

石川竜一がディレクション、作品選定！
沖縄本土復帰45年 特別展

写真家が見つめた沖縄

会期：平成29年4月25日（火）～5月21日（日）

沖縄県立博物館・美術館が開館10周年、そして沖縄が本土復帰を果たして45年を迎える2017年、沖縄県立博物館・美術館とNHK沖縄放送局では、展覧会ディレクターに県出身の写真家・石川竜一を迎え、沖縄の写真家たちが撮影した写真を通して、本土復帰以降の沖縄の時間を振り返る、放送と連動した特別展を開催します。（学芸員 島筒 格）

会場：コレクションギャラリー1、県民ギャラリー1、2、3
一般 310円(250円)、高大生 210円(170円)
県外小中生 100円(80円) ※県民ギャラリー1、2、3は入場無料



東松照明《久米島1977》2001年制作 デジタルプリント
※画像と展示作品は、異なる場合があります。

金城安太郎の初公開作品を展示！

今帰仁城盛衰記 ― 知られざる金城安太郎の仕事 ―

会期：平成29年5月23日（火）～6月25日（日）

日本画家であり新聞連載小説や雑誌の表紙絵などの挿絵画家としても知られている金城安太郎（1911-1999）。今から40年ほど前にテレビ番組制作のため金城が描いた《今帰仁城盛衰記》と題される原画11枚が、近年、見つかりました。また、その下図12枚も最近の調査で確認されました。その全貌を紹介します。

（学芸員 玉那覇 英人）



《今帰仁城盛衰記（中北山時代の今帰仁城をめぐる攻防）》1973年



《今帰仁城盛衰記（神拝人衆の出發乃図）》1973年

会場：コレクションギャラリー1 一般 310円(250円)、高大生 210円(170円)、県外小中生 100円(80円)

抽象的な世界を観る

安次富長昭展 ― 光・風・土への憧憬 ―

会期：平成29年4月25日（火）～10月15日（日）

安次富長昭は琉球大学の一期生として入学します。琉球大学記念切手のデザイン、琉球政府創立記念切手デザインが採用されるなど、その実力は学生の頃から際立っていました。ニシムイ画家と共に創斗展の創設メンバーでもあった安次富は、デザインの分野はもとより、絵画の分野に於いても沖縄美術界をリードするひとりでした。本展覧会では安次富の軌跡を紹介します。（学芸員 仲里 安広）

会場：コレクションギャラリー2 一般 310円(250円)、高大生 210円(170円)、県外小中生 100円(80円)

安次富長昭《南波照間》1991年



新城征孝《海の記憶（流木）》1979年

会場：コレクションギャラリー3
一般 310円(250円)、高大生 210円(170円)
県外小中生 100円(80円)

美術館 企画展

美術館コレクション展
も観覧できる！

やんばるの自然を感じる

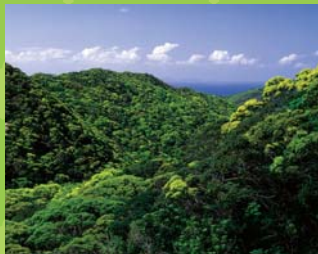
やんばるの森の美 ― 写真展(仮)

会期：平成29年5月6日（土）～6月25日（日）

国立公園に指定され、世界自然遺産登録候補地のひとつとして今注目を浴びている“やんばるの森”。そこに生きる貴重な野生動植物やそれらを育む美しい自然が持つ“美”をご紹介します。（（一財）沖縄美ら島財団 阿部 篤志、赤井 賢成）



オキナワイシカワガエル



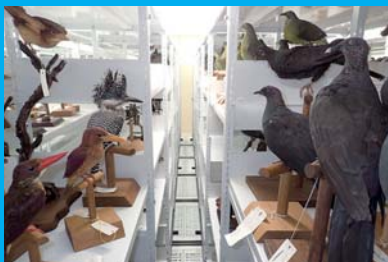
新緑のやんばるの森 写真：湊和雄

会場：美術館 企画ギャラリー1、2
一般 700円(560円)、高大生 500円(400円)
小中生 300円(240円)

博物館 バックヤード ここが すごい！



貴重な資料が間近で見られます



鳥の剥製がたくさん

博物館の活動を紹介するイベント
「バックヤードツアー」は毎月1回
分野をかえて実施中！



貝のコレクションが
こんなにたくさん！

博物館の裏側にはたくさんの部屋があり、貴重な資料が眠っています。1946年から収集している資料の数はなんと約10万点！ ツアーに参加すると展示室で紹介していない資料にも



学芸員が詳しく説明

出会えます。他にも冷凍室で-30℃の世界を体感したり、特殊なエレベーターに乗ることもできます。新しい発見があるかも！是非ご参加ください♪

教育普及 活動報告

博物館・美術館の
裏側を紹介するイベントの
見どころを紹介します！



「美術館って寒いな～」と感じたことはありませんか？ それは、貴重な作品を守るために温湿度を一定に保っているからなんです！ ミュージアムツアーでは、バックヤードにある絵画の修復室を見学したり(上の写真のように修復中の作品が見れるかも！)、展示室で実際に作品鑑賞をしながら、作品が展示されるまでの流れを学芸員がエピソードを交えて解説します！美術館が取り組んでいることや、目標としていることなど、ちょっとだけ美術館に詳しくなれますよ。

絵画・彫刻・写真など
美術館には様々な作品があります。
保存、修復、展示の現場を覗いてみよう！

ミュージアム ツアー ここが 面白い！



バックヤードツアーの様子



鑑賞体験

イベント情報

博 博物館のイベント 美 美術館のイベント 指 指定管理者のイベント

※日程やタイトルなど変更する場合があります。当館開催場所や参加費などの詳細情報はHP・チラシでお知らせいたします。

4-6月

指 ふれあい体験室ワークショップ

「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

[開催日] 4・5・6月 毎週土曜日 定員各回10人(※当日先着)

[時間] 10:00 カジマヤ／10:30 馬グラー

11:00 星コロ／11:30 ハブグラー



博 常設展展示解説会

[時間] 各回14:00-15:00 定員なし ※当日入場券が必要

生物 4/13 木

美術工芸・歴史 5/11 木

歴史 6/8 木

博 文化講座

5/20 土 「サンゴ礁の生態史 -海人の民俗知と琉球の未来-」

講師:秋堂智彌 氏(総合地球環境研究所 名誉教授)

[時間] 14:00-16:00 定員200人(※当日先着)

6/17 土 「シンポジウム」 講師調整中

[時間] 14:00-17:00(時間変更の可能性あり) 定員200人(※当日先着)

博 バックヤードツアー

[時間] 各回14:00-15:00(9:00～総合案内にて受付)

定員12人(※当日先着)

人類 4/22 土

生物 5/27 土

歴史 6/24 土

博 学芸員講座

[時間] 各回14:00-16:00 定員80人(※当日先着)

人類 4/8 土

歴史 5/13 土

美術工芸 6/3 土

美 ギャラリートーク「山元恵一展」

講師:弘中智子 氏(板橋区立美術館学芸員) 豊見山 愛(展覧会担当学芸員)

4/23 日 [時間] 14:00-16:00 定員50人(※当日先着)

美 学芸員講座 5/13 土

[時間] 14:00-15:30 定員50人(※当日先着)

5月27日(土)は『国際博物館の日』にちなみ
博物館常設展・美術館コレクション展が
無料開放日となります。 ※企画展は有料となります。

この日は1日を通して様々なイベントを企画しています。

博 展示解説会(美術工芸)

[時間] 11:00-12:00

バックヤードツアー(生物)

[時間] 14:00-15:00(※当日先着)

ボランティアガイド

[時間] 14:00-17:00

美 ミュージアムツアー

[時間] 10:30-12:00(4/27(木)より受付)

キュレータートーク

[時間] 14:00-15:00

指 ふれあい体験室ワークショップ

[時間] ①10:00/②10:30
③11:00/④11:30(※当日先着)

〈ミュージアムカフェの一時閉店のお知らせ〉

テナント入替及び店舗リニューアルのため4月1日(土)よりカフェを一時閉店いたします。ご来館者の皆さまへはご不便をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。4月下旬に開店を目指しておりますが、都合により遅延する可能性もございます。リニューアル内容や開店時期については、当館ホームページにて最新情報をご案内いたしますので、こちらをご覧ください。



沖縄県立博物館・美術館

Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

〔開館時間〕 9:00～18:00 (金曜日・土曜日は20:00まで)

※入館は閉館30分前まで

〔休館日〕 月曜日 (月曜日が祝日にあたる場合は開館し、翌平日が休館)

館内消毒休館 (6月26日～7月5日)

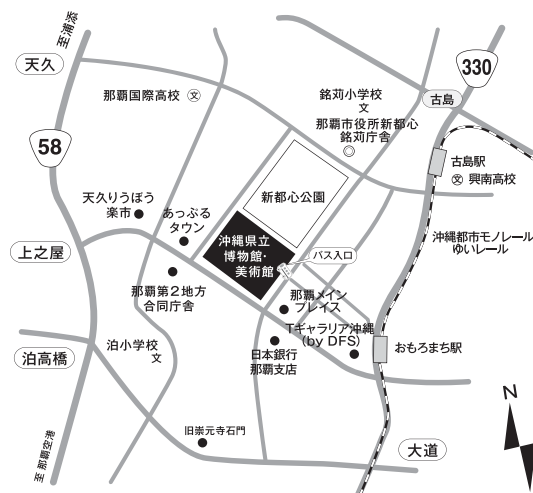
※5月15日(月)は開館

※休館日は変更することがあります

アクセス

駐車場は台数が限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- 〔バス〕那覇空港発99番線 おもろまち3丁目バス停下車〈徒歩5分〉
120番線 上之屋バス停下車〈徒歩10分〉
市内線 3.7.10番線 県立博物館前バス停下車
6番線 那覇メインプレイス東口バス停下車〈徒歩5分〉
市外線 バイパス経由 おもろまち駅前バス停下車〈徒歩10分〉
国道58号経由 上之屋バス停下車〈徒歩10分〉
おもろまち行 おもろまち1丁目バス停下車〈徒歩3分〉
〔沖縄都市モノレール〕ゆいレール おもろまち駅下車〈徒歩10分〉



編集後記

沖縄県立博物館・美術館の魅力をもっと知ってほしい!!と意気込んで始まった広報誌制作…。皆さんの助けでなんとか完成しました(T_T) 協力して頂いた皆さん! あとこの広報誌を読んでいる皆さん! ありがとうございます!!!
次号では夏休みイベント、10周年イベントの告知など情報もドンドン公開する予定です。ご期待下さい♪
(博ひと)

はくび通信 vol.03 春号 季刊誌

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 TEL 098-941-8200 (代表)

〔発行日〕2017年4月1日

〔編集・発行〕沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

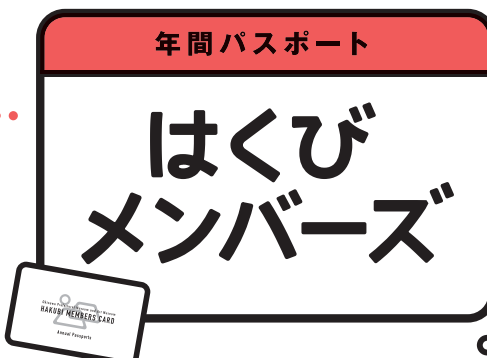
平成29年5月2日より当館の年間パスポートが パワーアップして新しく生まれ変わります!



その名も…

はくびメンバーズに加入すると…

当館主催の展覧会の年間パスポートとして使えることはもちろん、限定オリジナルグッズがもらえたり、ミュージアムショップやカフェでもうれしい特典が受けられます♪



詳しくは当館1F情報センターまで! --

